

これからの「いきかた」を 共に考える講演会



開催日

7月5日 土

午後2時～3時45分(開場 午後1時30分)

会場

聖籠町文化会館

住所 / 〒957-0117

北蒲原郡聖籠町大字諏訪山1280番地

入場
無料

演題

『賢い患者になりましょう』

～医療との上手な付き合い方～



講師 / 認定NPO法人

ささえあい医療人権センターコムルCOML

理事長 山口 育子 様

講師の山口様は30年ほど前、20代半ばで卵巣がんを発症。当時インフォームド・コンセントが一般的ではなく、病気や治療について十分な説明を受けられず不安だったといいます。その経験から山口様は医療現場におけるコミュニケーションの大切さを訴えてきました。

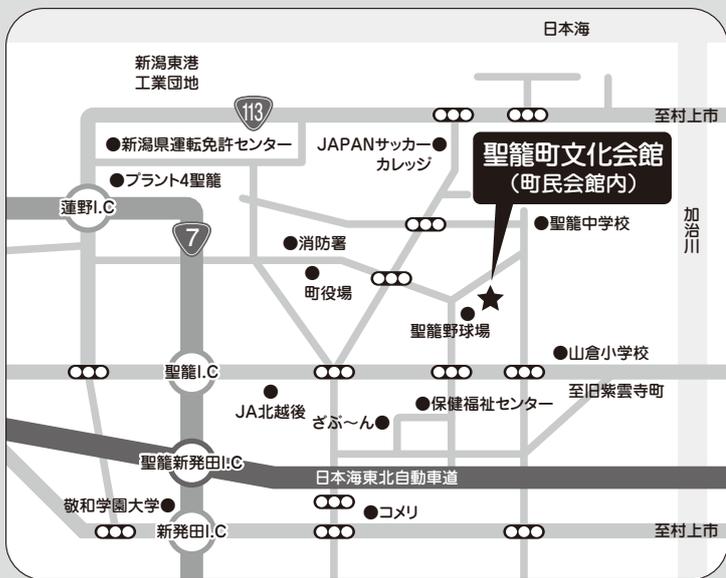
今回は、患者自らが主体となって医療に参加するにはどうしたらいいのか、上手な受診の仕方や患者としての心構え、コミュニケーションの必要性についてご講演いただきます。



参加申込書

提出先 / 聖籠町保健福祉センターもしくは、FAX 0254-27-6512
申込期間 / 6月2日(月)～6月25日(水)

氏名	住所	電話
		()
		()
		()



ヤマ グチ イク コ

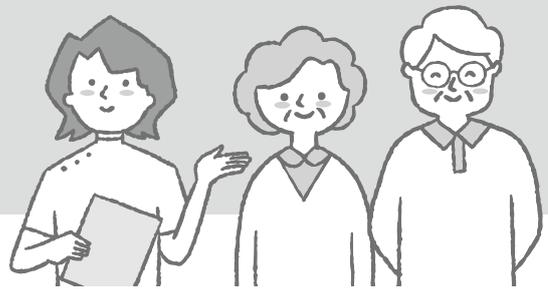
山口 育子様

1965年大阪市生まれ。自らの患者体験から、患者の自立と主体的な医療への参加の必要性を痛感していた1991年11月COMLと出会う。活動趣旨に共感し、1992年2月にCOMLのスタッフとなり、相談、編集、渉外などを担当。2002年4月に法人化したNPO法人ささえあい医療人権センターCOMLの専務理事兼事務局長を経て、2011年8月理事長に就任。社会保障審議会医療部会をはじめとする数多くの厚生労働省審議会・検討会の委員を務めている。2018年6月20日に『賢い患者』（岩波新書）刊行。広島大学歯学部客員教授。ラジオNIKKEI「賢い患者になろう!」パーソナリティ（毎月第4金曜17:20～17:40）。

会場
案内

聖籠町文化会館

〒957-0117 北蒲原郡聖籠町大字
諏訪山1280番地



認定NPO法人

ささえあい医療人権センターCOMLのご紹介

1990年9月に活動をスタートし、2002年以降はNPO法人として活動を続けています。2016年7月1日、更に公益性の高いNPOとして「認定NPO法人」に認証されました。

患者の主体的医療参加を目指し、患者一人ひとりが「いのちの主人公」「からだの責任者」としての自覚を持った「賢い患者になりましょう」と呼びかけてきました。受け身から自立へ、そして成熟した患者として医療に参画することが目標です。

また、医療現場にインフォームド・コンセントとコミュニケーションの充実をはかり、患者・医療者がそれぞれ半分ずつの役割を担い合う“協働する医療”を目指しています。

活動内容は、会報誌「COML」の発行、電話相談、ミニセミナー「患者塾」、SPグループ（SP: Simulated Patient【模擬患者】）、病院探検隊、患者と医療者のコミュニケーション講座、医療をささえる市民養成講座、医療関係会議の一般委員養成講座など。患者と医療者のよりよいコミュニケーションを構築するための活動を続けています。

お問い合わせ先

- しばた地域医療介護連携センター TEL 0254-20-8577
- 聖籠町地域包括支援センター TEL 0254-27-6521

主 催／一般社団法人新発田北蒲原医師会しばた地域医療介護連携センター、聖籠町

共 催／新発田市、胎内市 後 援／新潟県新発田地域振興局健康福祉環境部